

2025 年 7 月 8 日

株式会社電通デジタル

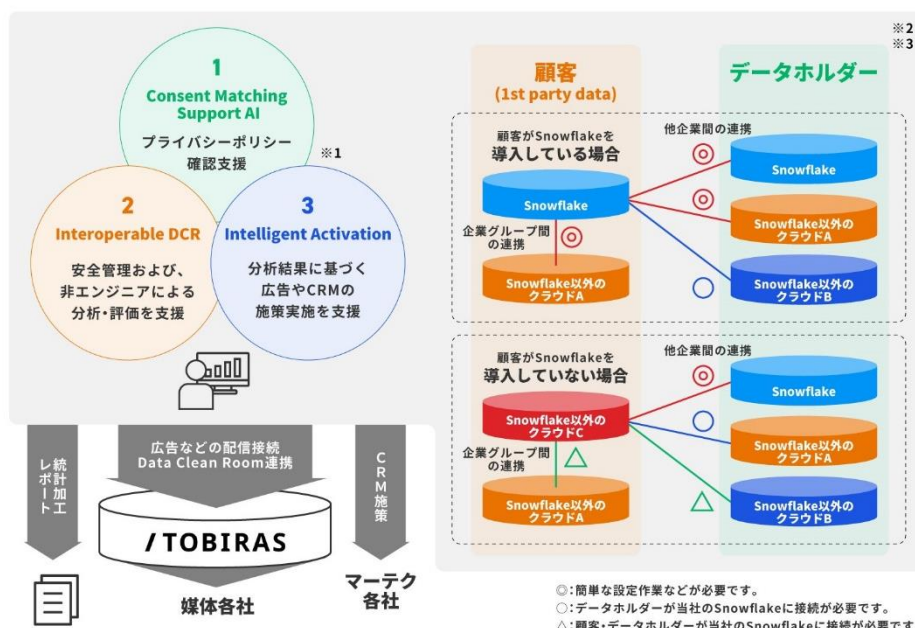
電通デジタルと電通、企業間データ連携を安全に実現する プラットフォーム「Tobiras Shared Garden」を 共同で開発、提供を開始 ークラウドフリーで企業間データの利活用を促進し、 マーケティング ROI の最大化に貢献ー

株式会社電通デジタル（本社：東京都港区 代表取締役社長執行役員：瀧本 恒 以下、電通デジタル）は、株式会社電通（本社：東京都港区 代表取締役社長執行役員：佐野 傑 以下、電通）と Snowflake 合同会社（日本法人：東京都中央区 社長執行役員：東條 英俊 以下、Snowflake 社）が取り組む企業間のデータ連携プラットフォーム「Tobiras Shared Garden（トビラス・シェアード・ガーデン 以下、TSG）」の開発に参画しました。本プラットフォームは、企業グループ内・他企業間でのデータ連携を促進し、マーケティング ROI（mROI）の最大化を支援するもので、本日より提供を開始します。

TSG は、既存のシステム環境に依存せず、マルチクラウド（クラウドフリー）で柔軟かつ安全なデータ連携を実現するプラットフォームです。これにより、顧客は、企業グループ内・他企業間や、電通デジタル・電通がアライアンスを構築したデータホルダー、プラットフォーム企業とのデータ連携が可能となります。また、顧客の環境において、より自由度の高いデータ利活用によって、広告施策や CRM（Customer Relationship Management）の効率化を実現します。

〈「Tobiras Shared Garden」システムイメージ〉

/Tobiras/SharedGarden



近年、1st パーティデータの取得範囲と深度が拡大する中、企業にはこれらのデータを利活用することによる mROI の向上が期待されています。その一方で、プライバシーポリシーに基づく同意範囲の管理や、システムの安全性確保といった課題により、企業グループ内であってもデータ連携が難しいケースが多く見られます。

特に、複数のデータソースを活用する際には、それぞれ異なるプライバシーポリシーに対応する必要があり、それぞれのデータソースから提供される個人データの同意範囲を適切に管理するには多大な労力を要します。また、一度データを送付すると、送付先のデータを更新できないうえ、無断コピーや目的外利用を防ぐ手段も限られていることがデータ連携上の障壁となっていました。

TSG は、電通デジタル・電通が年間 1,000 件以上（累積 3,000 件以上）運用してきたデータクリーンルーム（以下、DCR）の知見を生かして設計しており、これらの課題を解決する 3 つの機能を備えています。

①Consent Matching Support AI

連携データに関連する複数のプライバシーポリシーを読み込み、同意内容と一致する表現を抽出・リスト化し、プライバシーポリシーの確認を支援する機能

②Interoperable DCR

データ連携における安全管理措置を支援し、基本クエリを用意することで、非エンジニアでも分析を可能にする機能

③Intelligent Activation

分析結果に基づき、目的に応じた広告や CRM の施策実施を支援する機能

これらの機能により、顧客は柔軟かつ安全にデータ連携を実現することができます。

また、TSG は、Snowflake 社が提供するマルチクラウド対応のプラットフォーム上に構築されていることから、顧客は自社環境内で効率よく安全に 1st パーティデータを管理・連携・分析することが可能です。料金体系には「固定費＋従量課金制」を採用しているため、初期コストを抑えてスモールスタートすることもできます。

電通デジタルではこれまで、Snowflake Partner Network のサービスパートナー^{※4}として、1st パーティデータ活用に関する支援やクラウド基盤の開発を多く実施しており、その実績やノウハウを生かし、今回の共同開発に取り組みました。今後は、TSG の機能拡充を推進すると同時に、当社の統合マーケティング AI エージェントと接続することで、顧客の mROI 最大化の実現および、AI トランスフォーメーションを支援していきます。

当社は今後、対応クラウドの拡大に加え、Snowflake 社が提供する主要 AI ソリューション^{※5}を活用することで TSG を強化し、顧客の mROI 向上に貢献していくとともにグローバル各市場への展開も進めていきます。

※1：TSG を活用したデータ連携では、各種データは当社の環境を経由せず、安全に処理されます。（ただし、顧客が一部のクラウドにのみ対応している場合や、媒体 DCR との接続時には、当社環境への連携が必要となるケースがあります。）

※2：国内大手クラウド企業に複数対応しています。

※3：データ連携および利活用にあたっては、案件ごとに法務判断が必要となります。

※4：電通デジタル、Snowflake のサービスパートナー「Select」に認定（2022 年 9 月 8 日発表）

<https://www.dentsudigital.co.jp/news/release/prizes/2022-0908-000042>

※5：Snowflake 社が 5,200 社を超える企業への AI 導入実績を通じて新たに発表した Openflow（構造化データのみならず、画像や動画ファイル等の非構造化データを統合的に取込み・処理を可能にするサービス）、Snowflake Cortex AI（複数の LLM を効率的に切り替え・活用する AI 機能群）、Semantic Views（メタデータの再定義・統合整備を支援する機能）などの新ソリューション。

以 上

<電通デジタルについて> <https://www.dentsudigital.co.jp/>

電通デジタルは、国内最大規模の総合デジタルファームです。「人の心を動かし、価値を創造し、世界のあり方を変える。」をパーパスに、生活者に寄り添うクリエイティビティとテクノロジーを統合的に活用することで、あらゆるトランスフォーメーションを実現しています。クライアントの事業成長パートナーとして、共に新たな価値を創造することで、経済そして社会の「変革と成長」を目指しています。

【リリースに関する問い合わせ先】

株式会社電通デジタル コーポレートコミュニケーション部

北川・中村 Email : press@dentsudigital.co.jp